

## 東近江圏域医療福祉ビジョン

**できる限り元気に活動し、  
最期まで安心して住むことができる  
「地産」「地育」「地療(老)」「地死」  
の東近江をめざす**

※医療福祉

今後の本格的な高齢社会におけるサービスの在り方に着目した場合、保健、医療、福祉といった縦割りの各分野のサービスが単に連携するということにとどまらず、地域における生活を支えるという統一的な理念の下で、各分野が一体的かつ有機的にネットワークを形成していくことが重要であり、この考え方を表す言葉として、あえて「保健・医療・福祉」とせず「医療福祉」という新しい一つの用語を用いることとしている。

できる限り元気に活動し、最期まで安心して住むことができる  
「地産」「地育」「地療(老)」「地死」の東近江をめざす

**目標1**

住民の理解・参加のもと、圏域の医療福祉ビジョンが描かれている  
(自助・互助・共助のイメージの共有)

**目標2**

適切な医療機能の分化・連携が図られている

**目標3**

年をとっても、認知症になっても、がんになっても、障害があっても地域で最期まで安心して暮らすことのできる地域包括ケア(地域丸ごとケア)のシステムづくりができています

**目標4**

住民自らが「生老病死とどう向き合うか」という考えを持ち、地域の医療福祉と主体性を持って関わっている

**目標5**

医療福祉職が働きたくなる魅力ある地域づくり:地域全体で取り組む人材育成

- <達成条件>
- 住民参加のもとで圏域の医療福祉について検討する場がある
  - 医療福祉ビジョンについて地域に周知できている

- <達成条件>
- 医療の機能が明確になり関係者間で共通理解できている
  - それぞれの機関の機能を果たしている
  - 機能に併せて連携ができている(連携のためのツールがある)
  - 医療の機能が明確になり地域住民に周知できている
  - 地域住民が医療の役割や機能分担を理解し適切な受診行動をとれる
  - 多職種連携の場がある

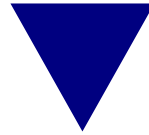
- <達成条件>
- 関係者が医療福祉システムについて検討する場がある
  - 関係者が、システムについて共通認識できている
  - 関係者や地域住民が生老病死との向き合い方について考える機会がある

- <達成条件>
- 地域住民が、自発的に地域の医療を守り育てる活動を進める
  - 地域の自助、互助、共助の活動が進む
  - 地域住民が生老病死との向き合い方について考えるきっかけがある
  - 地域住民が行っている医療福祉に関する地域活動の情報が集約できて、情報発信されている

- <達成条件>
- 医療福祉に携わる人材が増える
  - 潜在的な人材を発掘し、育成する場がある
  - 地域の関係者ネットワークの中で補うことができる

## <目標1>

住民の理解・参加のもと、圏域の医療福祉を検討する場がある  
(自助・互助・共助のイメージの共有)



<達成条件> 住民参加のもとで圏域の医療福祉のあり方について検討する場がある  
今後の医療福祉のあり方について周知できている



### <具体策①>

地域医療構想  
調整会議



### <具体策②>

地域から医療福祉  
を考える  
東近江懇話会

健康づくり・  
疾病予防を含む



### <具体策③>

市町  
関係機関  
の取組み



<p>具体策①</p>	<p>平成29年度以降、1～4回／年度 開催（書面開催を含む）        主な議題        令和4年度 ○圏域の在宅医療の現状について情報共有        令和6年度 ○各市町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の共有        ○東近江圏域の在宅・地域看取りの現状と課題について情報共有        ○東近江医師会の取組（在宅医療相談外来）について</p>
<p>具体策②</p>	<p>任意団体として、ビジョンに基づく活動を実施。年2～4回程度開催。        主な構成員        市民、医師・薬剤師等医療関係者、介護支援専門員・法人代表等介護事業者等        主な取組        ○介護職員初任者研修の開催：7月～10月開催、計139時間（令和7年度のプログラム）。        圏域内の専門職等が講師を務める。        ○「在宅医療・在宅看取り」の住民啓発DVDを作成。153か所に配布。        ○高校生の移動支援について検討        ○在宅看取り研修会の開催（令和7年度）        ○死を考える研修会（令和8年2月21日開催予定）</p>
<p>具体策③</p>	<p><b>医師会・歯科医師会・医療機関</b>：健康フェアや出前講座・市民公開講座・広報誌の発行、健康セミナー等、健康についての啓発活動を数多く実施。  <b>ウォーリス記念病院</b>：モニター会開催、地域福祉推進委員会の参画、ナーシングホームウォーリス記念館の開設（2026年4月予定）  <b>滋賀八幡病院</b>：精神障害者・認知症についての医療従事者向け研修を実施  <b>日野記念病院</b>：町との共同で市民公開講座の開催  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：役員会等様々な機会を活用した情報提供、三方よし研究会への毎年の参加、主催により多職種連携を進めた。  <b>訪問看護ステーション連絡協議会</b>：行方不明者早期発見保護の訓練  <b>市町</b>：介護保険事業計画・地域包括支援センター運営協議会・地域ケア会議等への町民の参画（委員）、住民対象のニーズ調査実施など、住民の参画に努めている。総合介護市民協議会、医療連携推進会議、在宅医療の啓発等実施。</p>

## <目標2>

適切な医療機能の分化・連携が図られている

<達成条件> 東近江圏域地域医療構想の方向性が関係者で共通理解できている  
それぞれの機関の機能を果たしている  
多職種連携の場がある  
機能に併せて連携ができている(連携のためのツールがある)  
(住民)医療の機能が明確になり地域住民に周知できている  
(住民)地域住民が医療の役割や機能分担を理解し適切な受診行動をとれる

★  
重点

### <具体策①>

地域医療構想  
の実現

### <具体策②>

多職種連携  
の場  
(三方よし研究会、  
地域版三方よし等)

### <具体策③>

連携ツールの  
活用  
(脳卒中・認知症・  
糖尿病・がん等の  
地域連携パス等)

### <具体策④>

退院調整機  
能の充実強化  
(入退院支援  
ルール)

### <具体策⑤>

★  
市町  
関係機関  
の取組み

<p>具体策①</p>	<p>地域医療構想調整会議を平成29年度以降、1～4回／年度 開催（書面開催を含む）し、適切な医療機能の分化・連携に向けた検討を継続。        主な協議事項：病床機能報告・各医療機関の具体的対応方針・経営強化プラン・地域医療連携推進法人の設立・地域医療介護総合確保基金（医療分）・医療機器協働利用計画等        病床機能報告上の病床数について、2015年から2024年にかけて、2,204床から2,087床になり、2025年の必要病床数である1,832床（2024年病床機能報告）に近づいている。</p>
<p>具体策②</p>	<p>近江圏域の多職種連携の場は以下の12か所と今年度能登川地域に新たに立ち上がった1か所。        特定非営利活動法人三方よし研究会・つながりネット・ぼちぼちねっと竜王・チーム永源寺・てんびん倶楽部・湖東エリア三方よしの集い・わたむきねっと・糖尿病三方よし研究会・京滋摂食嚥下を考える会 滋賀支部・滋賀PEGケアネットワーク・近江八幡心不全地域連携の会・三方よし研究会in八日市（休止中）        参考：滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課/在宅療養を支援する多職種研究会等活動紹介/令和7年</p>
<p>具体策③</p>	<p>脳卒中・がん・大腿骨骨折の連携クリティカルパスと、心臓病手帳、糖尿病連携手帳は、圏域内複数の病院で運用されている。特に脳卒中については、毎年東近江脳卒中地域連携連絡会議を開催するなど、東近江脳卒中地域連携パスの効果的な運用を目指し取り組んでいる。        認知症ケアパスは、全市町で作成されている。</p>
<p>具体策④</p>	<p>平成 27 年度に「東近江保健医療圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」を作成し、その後病院訪看ケアマネセラピストと各職種のワーキングで、入退院支援の現状・課題を共有し、より円滑な入退院支援について意見交換をした上で、手引きの運用を図ってきた。今年度、セラピストとの連携の視点と口腔機能管理の視点、フィードバックを通じた連携の視点を新たに追加し、第4版を発行した。圏域にて、病院訪看ケアマネ合同ワーキングやケアマネセラピストワーキングなどを継続して実施し、多職種連携の関係づくりができる場を持っている。</p>
<p>具体策⑤</p>	<p><b>東近江医師会・東近江総合医療センター</b>：相互に連携し、感染対策、在宅医療相談会を開催。二人主治医制の推進。  <b>日野記念病院</b>：「日野町糖尿病・糖尿病性腎症重症化予防対策事業」を日野町、滋賀医科大学日野記念病院で立ち上げ（令和7年～）  <b>各医療機関・保険者協議会・介護支援専門員連絡協議会・市町</b>：かかりつけ医を持つこと、適切な受診や医療費について、「#8000」「#7119」等啓発。</p>

## <目標3>

年をとっても、認知症になっても、がんになっても、障害があっても  
地域で最期まで安心して暮らすことのできる地域包括ケア(地域  
丸ごとケア)のシステムづくりができています

<達成条件> 関係者が医療福祉システムについて検討し、共通認識できている  
関係者や地域住民が生老病死との向き合い方について考える機会がある

### <具体策①>

多職種連携の  
場の活性化  
(三方よし研究会、  
地域版三方よし等)

### <具体策②>

市町の地域ケア  
会議活性化

### <具体策③>

多様な看取りの場  
(在宅、施設等)

### <具体策④>

各関係団体が  
実施する  
住民啓発  
多職種  
連携研修会等

<p>具体策①</p>	<p>団体名は目標2 具体策②の通り        主な活動内容は地域課題の解決、事例検討を通じた知識・技能の向上、研修会、情報交換、地域づくりやまちづくり、疾病の治療・療養指導の質の向上、学術講演会の開催等</p>
<p>具体策②</p>	<p><b>高齢者関連</b>（すべての市町で開催）        構成メンバー：主に医師や薬剤師、看護師、介護支援専門員、リハビリ職、管理栄養士、民生委員、社会福祉協議会職員など地域の医療介護の多職種        内容：主に高齢の個別ケースについて、その方の生活の現状や本人家族が抱える困りごとを共有し、今後本人が自宅で工夫できることや周囲の支援者ができること・支援の視点について検討する。個別事例の検討を重ね、そこから地域に共通した課題を抽出し、各市町での地域ケア推進会議の場に繋げている。  <b>精神関連</b>（すべての市町で開催）        開催頻度：各市町 1回／1～3か月。        構成機関：各相談支援事業所、地域活動支援センター、県ひきこもり支援センター、医療機関        高次脳機能障害支援センター、働き暮らし応援センター、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、子育て支援ネットワーク、庁内関係課、その他必要に応じて関係機関を招集。        内容：個別事例の検討、情報共有、ケース共有、地域課題の抽出・整理・検討、等</p>
<p>具体策③</p>	<p>令和5年の死亡場所としては、病院が最も多く69.6%、次に自宅16.5%、施設が11.8%。場所別割合の傾向としては、やや病院が減少しており、施設が増加している。  <b>滋賀八幡病院</b>：認知症疾患医療センターで専門医療相談・鑑別診断の実施。地域生活支援センターと連携し、精神障害者の継続した支援。  <b>東近江医師会</b>：在宅看取りの推進。在宅訪問診療医との連携。在宅医療相談会の開催。  <b>医療機関</b>：訪問診療・看護機能の強化、老健入所者へ看取りケアの案内・在宅・施設等への訪問診療  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：看取りに関する意向確認等の実践共有。確認した意向の情報共有</p>



具体策④

**東近江医師会・看護協会・各医療機関・機関・団体**：在宅看取りの推進・三方よし研究会との協働・参加

**東近江医師会**：認知症ケアネットワークを考える会（年3回）を継続開催

**看護協会**：キャリアアップ事業、看護職ネット会議、地域包括ケアフォーラムの開催

**滋賀八幡病院**：初期集中チーム会議の出席、支援方法の啓発。認知症サポーター研修の開催。

**近江温泉病院**：認知症啓発、勉強会、認知症カフェ・認知症初期集中支援チーム会議への参加

**日野記念病院**：日野町糖尿病・糖尿病性腎症重症化予防対策、わたむきネットへの参加、認知症キャラバンメイトへの活動協力

**医療機関**：臨床談話会の開催、市民公開講座の開催、健康・医療フェア・意見交換会の参加

**介護支援専門員連絡協議会**：会議・研修会等への1名以上の参加の徹底と、内容の共有。

**訪問看護ステーション連絡協議会**：連携のテーマでの顔合わせ・健康相談の実施

**滋賀県栄養士会ぴーまん食楽部**：研究会等に2名以上参加し、内容を共有

**市町**：多職種連携の場の開催、エンディングノートの作成・配布、終活について考える場の提供、緊急時情報共有カードの作成、介護保険主治医意見書用問診票に終末期の意思確認項目の追加



## <目標4>

住民自らが「生老病死とどう向き合うか」という考えを持ち、地域の医療福祉と主体性を持ってかかわっている

<達成条件> 地域住民が、自発的に地域の医療福祉を守り育てる活動を進める  
地域の自助、互助、共助の活動が進む（地域のつながり）  
地域住民が生老病死との向き合い方について考えるきっかけがある  
地域住民が行っている医療福祉に関する地域活動情報が発信されている

### <具体策①>

市民団体の活動支援



### <具体策②>

住民啓発

健康づくり  
予防を含む

<p>具体策①</p>	<p><b>医師会</b>：東近江メディカルケアネットワークからの情報発信  <b>滋賀八幡病院</b>：認知症看護認定看護師・精神科医師の講師派遣  <b>医療機関</b>：ボランティアの受入・ボランティアの参加、健康教室の開催、小学生通学時の見守り活動、夏祭りの交流  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：地域のボランティア活動状況の把握、地域活動（子三方よし研究会、子ども食堂等）への参加  <b>市町</b>：学区社協単位で地域の課題について考え、互助の取組を推進（社協とともに後方支援）、社協とともに地域のことを話し合う協議の場に参加し活動支援、社協の地域福祉活動支援</p>
<p>具体策②</p>	<p><b>東近江医師会</b>：地域から医療福祉を考える東近江懇話会と協働  <b>看護協会</b>：まちの保健室の開催、地域の健康フェアへ出展し、健康増進の啓発  <b>医療機関</b>：認定看護師による出前講座の開催、遺族会・追悼会の開催、緩和ケア病棟に関する映画の参画、がん患者サロンの開催、がんに関する講演会、市民公開講座の開催、認知症キャラバンメイトの出役、懇話会への参画、体操指導の実施、ACPに関する取組  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：エンディングノートの周知状況の確認と啓発  <b>訪問看護ステーション連絡協議会</b>：認知症の講演  <b>市町</b>：エンディングノート等の作成・配布、啓発。出前講座の実施、終活について考えるきっかけのための情報提供、主治医意見書用問診票へ終活・ACPに関する項目を追加、緊急時情報共有カードの作成、総合相談・出前講座・町ホームページ・広報・おれんじフェア等でかかりつけ医や適切な受診・終活等について周知啓発。</p>

## <目標5>

医療福祉職が働きたくなる魅力ある地域づくり  
地域全体で取り組む人材育成

<達成条件> 医療福祉に携わる人材が増える  
潜在的な人材を発掘し、育成する場がある  
地域の関係者ネットワークの中で補うことができる

### <具体策①>

就業情報等  
の発信

### <具体策②>

人材発掘  
(看護・介護)

### <具体策③>

中学生等への  
啓発  
職場体験等

### <具体策④>

市民団体等  
活動支援  
(人材育成)

<p>具体策①</p>	<p><b>医師会</b>：東近江メディカルケアネットワークの有意義な利用  <b>看護協会</b>：職業紹介・再就職チャレンジ事業、交流会の実施、復職支援研修  <b>医療機関</b>：HPやSNSでの情報発信・PR、外国人就労者の受入、学校説明会での情報発信  オープンキャンパスの参加  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：初任者研修に講師で参加、就業へつながる機会づくりに寄与  <b>市町</b>：事業所と求職者のマッチング、介護・看護合同職場研修会の実施</p>
<p>具体策②</p>	<p><b>歯科医師会</b>：離職中歯科衛生士の発掘（復職支援）、訪問診療に携わる人材養成（診療現場での見学・実習体験）  <b>看護協会</b>：看護補助者の確保・定着に向けた取組、看護職のポータルサイトの周知、プラチナナース合同就職説明会の開催  <b>医療機関</b>：インターンシップ・実習生の受入、就職説明会への参加、病院見学会、奨学金制度  臨床研修医の受入、働き方改革・ワークライフバランスの推進  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：しがケアフェスタへ参加し、介護支援専門員の仕事の魅力を発信  <b>市町</b>：介護に関する入門的研修の実施、奨励金の交付</p>
<p>具体策③</p>	<p><b>東近江医師会・看護協会・医療機関</b>：職場体験の実施  <b>医療機関</b>：インターンシップの受入、病院見学の受入、臨床ワークの実施  <b>市町</b>：小中学生を対象に体験的学習を通じた福祉教育の実施、中学校事業「チャレンジウィーク」にて職場体験を実施、小中学生を対象とした介護の魅力発信事業の実施、介護事業所で中学生が1週間職場体験を実施</p>
<p>具体策④</p>	<p><b>東近江医師会</b>：懇話会との協働・介護研修事業への共済金支出  <b>歯科医師会</b>：訪問歯科衛生士養成講座・口腔ケア講習  <b>医療機関</b>：研修・研究会の開催による医療従事者の育成、実習受入、認定看護師による研修  <b>介護支援専門員連絡協議会</b>：研修会を開催し、相談援助者としての資質向上と多職種連携強化を図る  <b>市町</b>：介護・技術力の向上や定着支援を目的としたスキルアップ研修の実施、介護職員初任者研修の周知・補助金</p>